



## 海外

## 稲門会の躍動

Overseas TOMONKAI

登録稲門会 検索

現在、約70の海外稲門会が世界各地で活動しています。  
海外に滞在する際は、現地の稲門会を検索して参加してみましょう。  
※一部、活動休止中の稲門会もありますことを、ご了承ください。

## 会長メッセージ

1887年に、洪奭鉉先輩が韓国人として初めて早稲田大学を卒業して以来、約7,000人の韓国人が早稲田大学を卒業しています。

POSCO、サムスン、ロッテ、暁星など、早稲田大学を卒業した韓国人校友は、韓国の経済発展に大きく貢献してきました。また、1947年に設立された早稲田大学韓国校友会は、大韓民国の発展と韓日関係の活性化に大きく寄与してきましたと自負しています。

近年、韓国校友会は、さまざまな稲門会活動を

通じた校友の参加と、40歳以下の若い校友の参加の二つの側面から校友会活動の活性化に努め、その成果は順調に表れています。

当会は、今後も若い会員の積極的な参加による、さらなる成長とともにウリ稲門会、ソウル稲門会、そして早稲田大学校友会との定期的な交流を通じて、早稲田のネットワークを活性化させていきます。

校友の皆さまのご理解とご協力に心より感謝申し上げます。

ユン ヨンノ  
尹 泳老 (1978年政経)

## 会員からのメッセージ

卒業後、米国に行きました。本格的に校友会活動を始めようと思ったところ、新型コロナウイルス感染症が流行。2022年の終わりが、やっと会員としての活動ができるようになりました。不動産やブロックチェーンに関するセミナーや運動会、12月の定期総会まで、いろいろなイベントに参加することができました。多くの先輩、後輩に会えて、とてもうれしく思いました。特に、定期総会は過去最多の参加者があり、いつもよりもワイワイした年末でした。今年からはさらに活発で有益な校友会になるよう、力を入れて手伝いたいと思います。

キム ウンソフ  
金 雄燮 (2017年政経)

卒業後、東レで社会人生活を始め、校友会活動に参加してからもう7年がたちました。東レ以後、スタートアップで事業をしています。社会人になった後、多くの校友たちから応援をいただき、いろいろ助けてもらいました。先輩

や後輩たちの知恵と助けで、いつも早稲田人としての誇りを持って生きています。

2020年度と21年度はCOVID-19の影響で校友会活動は休止していましたが、22年の忘年会には多くの校友が参加し、久しぶりに会う校友たちとあいさつを交わすことができました。23年も、多くの校友たちによって交流が盛んに行われる1年になることを願っています。

キム チョソン  
金 慶雄 (2016年国際教養)

私は卒業してから、LG DisplayでSONYやPanasonicなど日本の法人向けのビジネスから社会人生活を始めました。サムスン電子で日本市場向けにスマートフォンのプロダクトマーケティングをしている現在に至るまで、ずっと韓国企業に勤めてはいるものの、日本と密接に仕事をしています。

時期はそれぞれ異なりますが、皆早稲田のキャンパスで学び、学生時代の思い出を積み重ねてきた人々が、このように韓国人校友会でまた結ばれ、各自社会で新たに経験したことを共有できるのが、とても素敵な機会だと思います。今までは、コロナ禍のためオフラインでの活動に制約がありましたが、今後はだんだん皆さまと直接お会いして、さまざまな活動ができることを心から楽しみにしています。

リズミン  
李 承受 (2014年政経)

## 韓国校友会について

早稲田大学韓国校友会は、1947年に設立され、韓国にある海外大学の同窓会組織の中でも最も古い歴史を誇っています。会員数は1,000人に迫り、毎月さまざまな形の稲門会イベントを開催しています。

例えば、ゴルフ稲門会、仏教稲門会、若手稲門会、足球(ジョック)稲門会など、多様な趣味と好みに合わせた稲門会を運営しています。余暇を楽しむことで終わらず、社会活動とキャリアに役立つセミナーなどを開催し、現在と未来に役立つ校友会を目指して活動しています。

校友一人一人の寄付で成り立った早稲田大学韓国校友会の奨学財団では、早稲田大学の審査により選定された韓国人在学生在に毎年奨学金を給付し、20年間に在学生の勉学支援を行っています。

また、韓国校友会の活動をもっと広く知ってもらうため、毎年『WASEDA KOREA』という会報を発行し、韓国の校友をはじめ、在学生にもその活動内容を紹介しています。

ファン ヒョンソク  
黄 昞奭 (1995年経研修)



足球稲門会



仏教稲門会



2022年12月に開催された定期総会・忘年会。多くの参加者が集まった

## 韓国の魅力

多様な魅力で世界文化の中心に立っているKカルチャーは、ますます世界の関心を集めようとしています。Kコンテンツは、既に2020年から世界的権威のあるチャートと多くの賞を席卷し、産業的にも家電製品とディスプレイパネルを越えて、韓国の輸出品目の中心になっています。

K-POPの人気だけでなく、映画とドラマに至るまで、韓国の文化コンテンツが世界的に注目されるようになったのは、多様な新しいブラッ

トフォームと、その文化を楽しんでいる多くの外国人と韓国人によるものではないかと思っています。

韓日両国間のコンテンツの交流が始まってから既に数十年がたちました。その間、世代と両国間の距離を縮める重要な役割を果たしてきたと言えるでしょう。両国間の若い世代の活発な交流と往来により、より良い親密な関係になることを心から強く期待しています。

ジョン ジェハン  
鄭 載淵 (2008年教育)

ゴルフ稲門会

